

重点プロジェクトへの取り組み

1 若者が夢・希望を持てるまちを創る

～特に若者が、夢や希望をもってチャレンジできる環境づくりとして～

- ▶住宅建設資金金利負担軽減補助金 3,046万円
- ▶企業立地促進奨励事業費補助金 1,000万円
- ▶若年者移住定住促進家賃補助金 921万円
- ▶次世代育成事業（地域おこし協力隊） 718万円
- ▶結婚支援事業 456万円
- ▶定住促進住宅取得支援補助金 350万円

若者の交流やチャレンジ、移住・定住を支援します。



2 女性にとって魅力的なまちを創る

～特に女性に魅力的な働く場の創出、助け合いながら子育てできる環境整備として～

- ▶学校給食費の無償化 6,726万円
- ▶学校ICT環境整備推進事業 6,283万円
- ▶子ども医療費給付費 6,026万円
- ▶子育て支援対策事業 2,045万円
- ▶出産・子育て応援事業 1,631万円
- ▶地域子育て支援対策事業 1,548万円

小中学校のすべての教室に電子黒板を設置します。



3 活力と特色のある地域を創る

～特に人口減少の中で活力と特色のある地域づくりを進めるための支援策として～

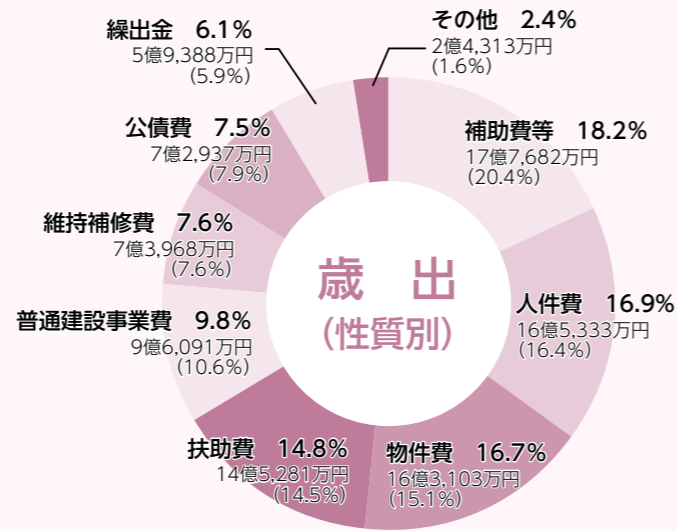
- ▶除雪対策事業 3億5,384万円
- ▶スポーツ健康まちづくり事業 2,829万円

総合計画の部門別事業費

- I 生活環境 17億9,121万円
(常備消費費3億1,840万円など)
- II 健康福祉 17億2,663万円
(子ども・子育て支援事業5億3,463万円など)
- III 産業 4億9,214万円
(日本型直接支払制度2億4,437万円など)
- IV 教育文化 6億5,678万円
(森山総合公園管理事業1億3,326万円など)

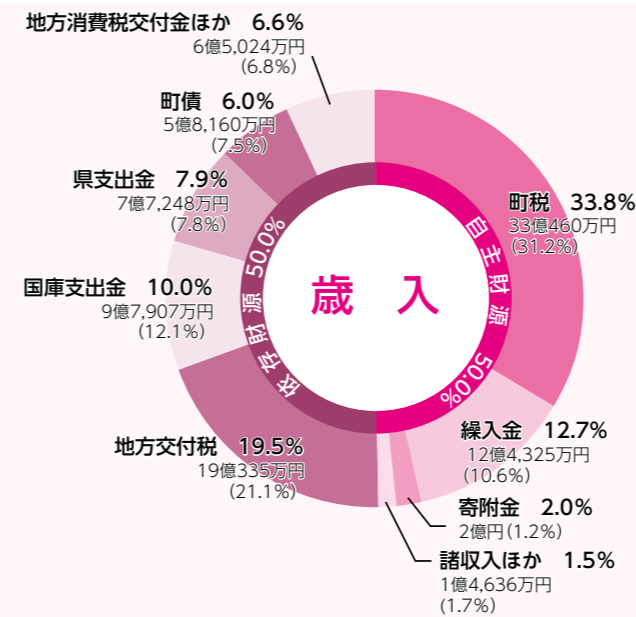
一般会計 97億8,096万円

前年度比 1億4,494万円 1.5%増



※ () 内は前年度予算の割合

物件費は、システム標準化対応に伴う電算管理費などの増により、前年度比1億7,845万円増の16億3,103万円です。普通建設事業費は町道舗装補修工事や学校給食センター厨房機器更新などにより、前年度比5,654万円減の9億6,091万円です。

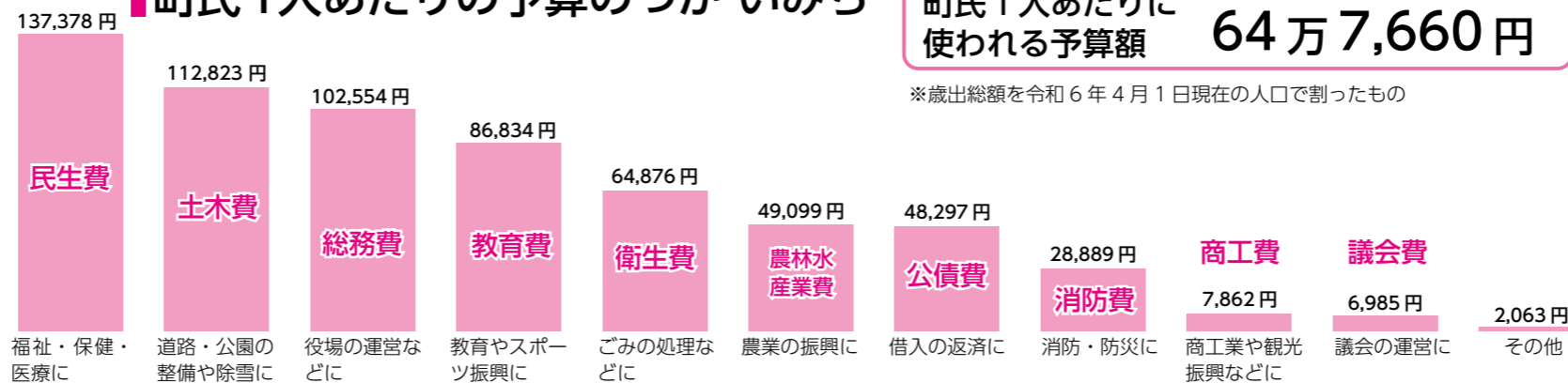


町税は、個人町民税および固定資産税の増により前年度比3億32万円増の33億460万円です。国庫支出金は前年度の新型コロナウイルスワクチン接種に対する交付金がなくなったことにより前年度比1億8,180万円減の9億7,907万円です。町債は、町道の舗装補修や社会教育施設等整備事業などの財源として5億8,160万円です。

町民1人あたりの予算のつかいみち

町民1人あたりに使われる予算額 **64万7,660円**

※歳出総額を令和6年4月1日現在の人口で割ったもの



特別会計・企業会計予算

特別会計 34億3,202万円

項目	金額 (万円)	前年度比
国民健康保険	12億9,630	5.3%減
訪問看護ステーション事業	2,753	0.8%増
介護保険事業	15億1,672	0.4%減
介護サービス事業	426	3.9%減
診療施設 (医科)	3億6,175	3.4%減
診療施設 (歯科)	4,319	5.1%減
後期高齢者医療	1億7,257	8.5%増
若手中部工業団地内工業用地整備事業	970	97.4%減

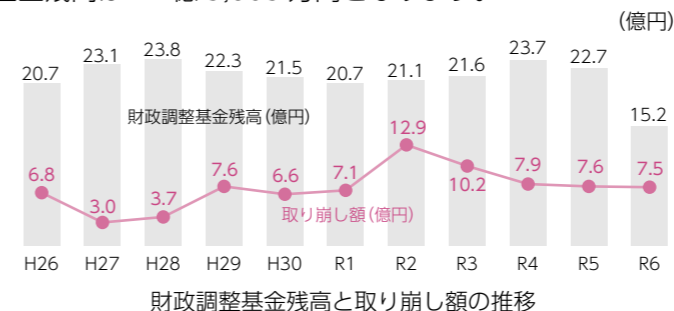
企業会計 11億7,165万円※

項目	金額 (万円)	前年度比
水道事業	3億9,439	0.4%増
下水道事業	7億7,726	2.4%増

※収益的支出の額

財源不足に対応するため基金を活用

財源不足に対応するため財政調整基金、いわゆる貯金を取り崩すことにより予算を成り立たせています。令和6年度予算では7億4,545万円を取り崩しており、取り崩し後の基金残高は14億5,805万円となります。



令和6年度 予算 1年間の収入・支出は?

第十二次総合計画4年目 「住みやすさ日本一」のまちの実現に向けて

令和6年度の一般会計予算額は、97億8,096万円となりました。特別会計・企業会計予算額は46億3,677万円となり、一般会計と合わせた予算総額は143億8,463万円となりました。本年度は、人口減少対策を最重要課題としながら、学校給食費の無償化をはじめとする子育て支援や、除雪対策などの生活に密着した課題への対処による快適な住環境づくりに継続して取り組み、「住みやすさ日本一」のまちの実現を目指します。